

# ASA の WCCP : 概念、制限事項、および設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[WCCP と ASA の概要](#)

[WCCP リダイレクション](#)

[WCCP サービスグループ](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス ( ASA ) 上の Web Cache Coordination Protocol ( WCCP ) の概念、制限、および設定について説明します。WCCP は、ASA が Generic Routing Encapsulation ( GRE ) トンネル経由で WCCP キャッシュ エンジンにトラフィックをリダイレクトする手段です。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Web Cache Communication Protocol ( WCCP ) バージョン 2 ( v2 )
- Cisco Adaptive Security Appliances ( ASA )
- Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス ( ASA ) ソフトウェア : 互換性については、コンフィギュレーション ガイドを参照
- プロキシ キャッシング
- リダイレクション

以下のドキュメントを読んで ASA 上の WCCP 設定の制限を理解することもお勧めします。

- [CLI 8.2 を使用した Cisco ASA 5500 シリーズ設定ガイド : WCCP による Web キャッシュサービスの設定 ガイドラインと制限事項](#)

- [Cisco ASA シリーズ CLI コンフィギュレーション ガイド 9.0 : WCCP による Web キャッシュ サービスの設定](#)

## 使用するコンポーネント

このドキュメント内の情報は、Web Cache Communication Protocol ( WCCP ) バージョン 2 ( V2 ) に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## WCCP と ASA の概要

WCCP は、1 つ以上のルータと 1 つ以上の Web キャッシュ間の相互作用を規定しています。相互作用の目的は、ルータのグループを通過する選択されたトラフィックのタイプの透過的なリダイレクションを確立し、維持することです。選択されたトラフィックは、リソース使用率の最適化と応答時間の短縮のために Web キャッシュのグループにリダイレクトされます。

WCCP では、ASA がインターフェイス上に設定された最上位の IP アドレスを選択し、それをルータ ID として使用します。これは、Open Shortest Path First ( OSPF ) がルータ ID に関して従うプロセスとまったく同じです。ASA は、パケットをキャッシュ エンジン ( CE ) にリダイレクトするときに、ルータ ID IP アドレス ( 別のインターフェイスが起源でも ) からリダイレクトを実行し、パケットを GRE ヘッダーにカプセル化します。

GRE 接続は単方向です。ASA は、リダイレクトするパケットを GRE にカプセル化し、それをキャッシュ エンジンに送信します。ASA は、CE からの GRE カプセル化応答を処理しません。CE は、内部ホストと直接通信する必要があります。

リダイレクションの作業フローには以下の手順が含まれます。

1. ホストが ASA のデフォルト ゲートウェイを使用して HTTP 接続を開きます。
2. ASA がパケット ( GRE にカプセル化 ) を CE にリダイレクトします。
3. CE が要求されたサイトのキャッシュを検証または更新します。
4. CE がホストに直接応答します。ホストからのすべてのアウトバウンド パケットが ASA から CE にリダイレクトされます。サーバからホストへのすべてのインバウンド パケットが CE からホストに転送されます。

ASA は WCCP V2 を実装しています。サーバが WCCP V2 をサポートしている場合は、互換性があるはずですが。

# WCCP リダイレクション

WCCP V2 は、1 つ以上の Web キャッシュへの接続を検出、検証、およびアドバタイズするための透過的なリダイレクションに対して 1 つ以上のルータを有効にするメカニズムを定義しています。WCCP リダイレクションの手順を以下に示します。

1. ユーザが URL をブラウザに入力します。
2. URL がアドレス解決のためにドメイン ネーム システム ( DNS ) に転送されます。
3. URL が Web サーバの IP アドレスに解決されます。
4. クライアントが SYN 要求を使ってサーバへの接続を開始します。
5. アクティブ ルータでは、WCCP Web キャッシュ サービスが HTTP 要求 ( TCP ポート 80 ) をインターセプトし、設定された負荷分散に基づいてその要求をキャッシュにリダイレクトします。キャッシュ ヒットが発生すると、CE が、要求されたコンテンツを使って元の GET に応答し、応答パック内の配信元サーバの送信元 IP アドレスを使用します。要求されたコンテンツがまだ CE 上に保存されていない場合は、キャッシュ ミスが発生します。CE が配信元サーバへの接続を確立して、それ自体の IP アドレスを送信元として使用し、HTTP GET を送信します。サーバがコンテンツを使って CE に応答します。CE がキャッシュ可能コンテンツのコピーをディスクに書き込みます。

## WCCP サービス グループ

接続が確立されると、ルータと Web キャッシュがサービス グループを形成して、サービス グループ定義に特性が含まれているトラフィックのリダイレクションを処理します。

Web キャッシュは、HERE\_I\_AM\_T ( 10 ) 秒間隔でグループ内の各ルータに WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージを送信し、サービス グループに参加してそのメンバーシップを維持するように指示します。メッセージは、ユニキャストで各ルータに送信することも、マルチキャストで設定されたサービス グループのマルチキャスト アドレスに送信することもできます。

- WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージ内の Web-Cache Identity Info コンポーネントは、IP アドレスで Web キャッシュを識別します。
- WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージの Service Info コンポーネントは、Web キャッシュが参加するサービス グループを識別して記述します。

サービスグループ	タイプ	説明
サービス 0	Web-cache	ASA に CE への HTTP トラフィックのリダイレクトを許可する Web キャッシング サービス。
サービス 53	DNS	ASA にクライアント エンジンへの DNS クライアント要求の透過的なリダイレクトを許可する DNS キャッシング サービス。
サービス 60	FTP-native	ASA にコンテンツ エンジン上の単一ポートへの FTP ネイティブ要求の透過的なリダイレクトを許可するキャッシング サービス。
サービス 70	https-cache	ASA にポート 443 TCP トラフィックのインターセプトとコンテンツ エンジンへの HTTPS トラフィックのリダイレクトを許可するキャッシング サービス。
サービス 80	rtsp	ASA にコンテンツ エンジン上の単一ポートへの Real Time Streaming Protocol ( RTSP ) クライアント要求のリダイレクトを許可するメディア ストリーミング サービス。
サービス 81	mmst	ASA に TCP ベースの Microsoft Media Server ( MMST ) リダイレクションを使用した、コンテンツ エンジン上の TCP ポート 1755 への Windows

		Media Technology ( WMT ) クライアント要求のルーティングを許可するメディア キャッシング サービス。
サービス 82	mmsu	ASA に User Datagram Protocol ( UDP ) ベースの Microsoft Media Server ( MMSU ) リダイレクションを使用した、コンテンツ エンジン上 UDP ポート 1755 への WMT クライアント要求のルーティングを許可するメディア キャッシング サービス。
サービス 83	wmt-rtsp	ASA に Windows Media サービス 9 クライアントから CE 上の UDP ポート 5005 への RTSP 要求のリダイレクトを許可するメディア ストリーミング サービス。
サービス 90 ~ 97	user configurable	WCCP サービスごとに最大 8 つのポートをサポートするユーザ定義の WCCP サービス。このようなユーザ定義のサービスを設定する場合は、トラフィックを HTTP キャッシング アプリケーションにリダイレクトするのか、HTTPS アプリケーションにリダイレクトするのか、コンテンツ エンジン上のストリーミング アプリケーションにリダイレクトするのかを決定する必要があります。
サービス 98	custom-web-cache	ASA にコンテンツ エンジン上のポート 80 以外の複数のポートへの HTTP トラフィックの透過的なリダイレクトを許可するキャッシング サービス。
サービス 99	reverse-proxy	ASA にポート 80 上のコンテンツ エンジンへの HTTP リバース プロキシングのトラフィックのリダイレクトを許可するキャッシング サービス。

サービス グループは、サービス タイプとサービス ID で識別されます。次の 2 種類のサービス グループがあります。

- 既知のサービス
- ダイナミック サービス

既知のサービスは、ASA と Web キャッシュの両方で認識され、サービス ID 以外の記述を必要としません。

これに対して、ダイナミック サービスは ASA に対して記述する必要があります。ASA は、サービス グループに関連付けられたトラフィックの特性を知らなくても、サービス ID で識別される特定のダイナミック サービス グループに参加するように設定できます。トラフィック記述は、サービス グループに参加するための最初の Web キャッシュの WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージで ASA に渡されます。Web キャッシュは、Service Info コンポーネントの Protocol、Service Flags、および Port の各フィールドを使用してダイナミック サービスを記述します。ダイナミック サービスが定義されると、ASA は矛盾した記述を含む後続の WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージをすべて破棄します。また、まだ設定されていないサービス グループが記述された WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージも破棄します。

0 ~ 254 の番号がダイナミック サービスで、Web キャッシュ サービスは標準サービス、つまり、既知のサービスです。これは、Web キャッシュ サービスが指定された場合は、WCCP V2 プロトコルで TCP 宛先ポート 80 トラフィックがリダイレクトされることが事前に定義されていることを意味します。0 ~ 254 の番号の場合は、それぞれがダイナミック サービス グループを表します。WCCP CE ( Bluecoat など ) がサービス グループごとにリダイレクトするプロトコルとポートのセットを定義します。その後で、ASA が同じサービス グループ番号 ( wccp 0 ... または wccp 1 ... ) を使って設定されると、ASA は、Bluecoat デバイスの指示に従って指定されたプロトコルとポート上でリダイレクションを実行します。

Web-Cache Identity Info の例を以下に示します。

Web キャッシュがサービス グループ 0 に属している例を以下に示します。

カスタマー サービス グループ 91 に属している Web キャッシュ サーバとトラフィックがサーバにリダイレクトされるポートの例を以下に示します。

ASA は、WCCP2\_I\_SEE\_YOU メッセージを使用して WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージに応答します。

- WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージがユニキャストだった場合、ルータはユニキャスト WCCP2\_I\_SEE\_YOU メッセージを使用して即座に応答します。
- WCCP2\_HERE\_I\_AM メッセージがマルチキャストだった場合、ルータはサービス グループに対してスケジュールされたマルチキャスト WCCP2\_I\_SEE\_YOU メッセージを使用して応答します。

ルータ/ASA 'I See You' メッセージの例を以下に示します。この例では、ルータがサービス グループ 91 に参加して、ポート 80、8080、および 443 を Web キャッシュ サーバにリダイレクトします。

GRE パケットの例を以下に示します。

## 設定

**注:** リダイレクトリストでは、アクセス リストにネットワーク アドレスだけが含まれている必要があります。ポート固有のエントリはサポートされていません。

**注:** `wccp` コマンドの詳細については、『[Cisco ASA 5500 シリーズ コマンド リファレンス 8.2](#)』を参照してください。

この手順では、ASA 上で WCCP を設定する方法について説明します。

1. `wccp` コマンドを入力して、リダイレクトするトラフィックを指定します。

```
wccp {web-cache | service_number} [redirect-list access_list] [group-list access_list]
[password password]
```

2. `wccp` コマンドを入力して、トラフィック リダイレクションを実行するインターフェイスを指定します。

```
wccp interface interface_name {web-cache | service_number} redirect in
```

**注:** WCCP リダイレクトは、インターフェイスの入力側だけでサポートされています。

ASA 設定の例を以下に示します。

```
access-list caching permit ip source_subnet mask any
wccp 90 redirect-list caching
wccp interface 90 redirect in
Helpful Commands:
show wccp
show wccp 90 service -> this should indicate the ports that are being serviced by this WCCP
server. Without the 'service-flags ports-defined' in the Cache server configuration, the ports
to be redirected are NOT passed to the ASA. Therefore, the traffic will never be redirected.
This will result in 'Unassigned' increases with 'show wccp'.
```

```
ASA# show wccp 90 service
```

```
WCCP service information definition:
```

```
Type:          Dynamic
Id:            90
Priority:      0
Protocol:     6
Options:      0x00000013
-----
Hash:         SrcIP DstIP
Alt Hash:    -none-
Ports:       Destination:: 80 8080 0 0 0 0 0 0
```

```
ASA# show wccp 90 view
```

```
WCCP Routers Informed of:
```

```
X.X.X.X [Higher IP address on the device will be seen here]
```

```
WCCP Cache Engines Visible:
```

```
Y.Y.Y.Y [IP address of the web-cache server in the service-group 91]
```

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

リダイレクトが想定どおりに動作しない場合は、次の出力を使用してトラブルシューティングします。この出力はすべて ASA に関するものです。

- `show tech-support`
- `show wccp [service|view|hash|bucket|detail]`
- `show asp table classify`

この3つのコマンドの出力が有効と判断した場合は、以下の手順を実行する必要があります。

- 該当する syslog を確認します。
- `capture` コマンドを使用して、ASA インターフェイスと Web キャッシュ サーバ IP 間のキャプチャと、クライアントとそれがアクセスしようとしている Web サーバ間のキャプチャを調査します。

特定の show コマンドが [アウトプット インタープリタ ツール](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) でサポートされています。show コマンド出力の分析を表示するには、アウトプット インタープリタ ツールを使用します。

## 関連情報

- [Cisco ASA 5500 シリーズ次世代ファイアウォール レファレンスガイド](#)

- [Cisco ASA 5500 シリーズ次世代ファイアウォール設定ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)